

整備効果3 救急医療の速達性・確実性の確保

山口県北部地域には三次救急医療機関がないため、重篤患者等の対応については、下関市や宇部市などの管外の医療機関への搬送が不可欠な状況であります(管外搬送は約1割)。

また、長門市の救急搬送人員は年間1,641人(令和2年中)で、その内の約9割(1,473人)を市内中心部に立地する二次救急医療機関へ搬送しており、中心部から離れた地区からの搬送は、搬送時間が増大する傾向にあります。

このため、長門市では病院収容までに要する所要時間の水準が低く、救急搬送時の速達性や確実性が確保されていません。

さらに主な搬送経路となる国道191号や316号は信号交差点が多く、患者への負担がかかり、安定搬送の面で課題となっています。

長門総合病院への搬送経路と信号交差点の状況



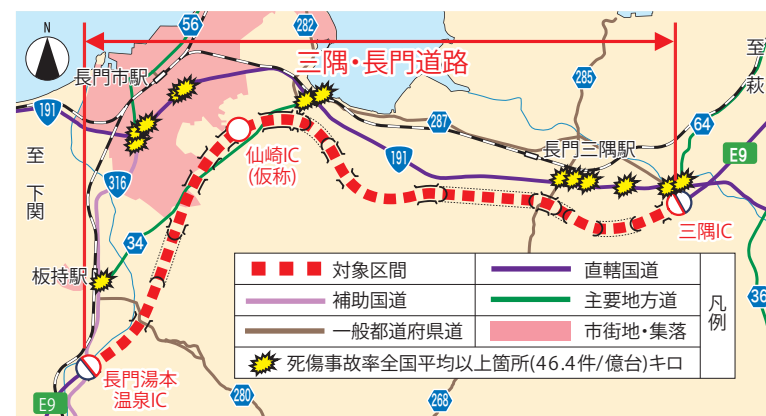
整備効果4 安心・安全で快適な走行環境の確保

死傷事故件数は、減少傾向にあるものの、三隅・長門間の国道191号、(主)下関・長門線、国道316号には、全国平均死傷事故率(46.4件/億台キロ)を上回る箇所が14箇所存在します。

また、信号交差点での速度低下が主な要因と思われる追突事故の割合が約8割となっており、全国平均と比べ高い状況にあります。

三隅・長門道路の整備により事故が多発する箇所を回避し、快適で安心・安全な走行環境が確保されます。

全国平均死傷事故率以上の事故発生箇所



整備効果5 災害時に強い道路ネットワークの確保

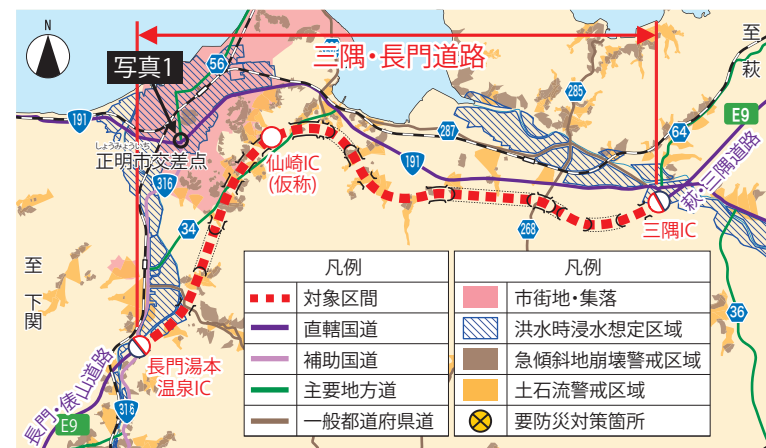
三隅～長門間の国道191号、(主)下関長門線、国道316号のいずれの路線にも、土砂災害警戒区域が多数存在します。また、長門市街地及び旧三隅町中心部に洪水時浸水想定区域が存在し、防災上脆弱な箇所が集中しています。

三隅・長門道路の整備により、代替路が確保されるため、社会経済活動や日常生活への影響を最小限に留めることが期待されます。



道路被災状況(冠水)
(H27.8.25 正明市交差点:冠水時間2時間)

災害のリスク



令和6年3月 作成



国土交通省 中国地方整備局
山陰西部国道事務所

〒758-0041 山口県萩市大字江向318番地2
TEL:0838-21-3910 HP: <http://www.cgr.mlit.go.jp/saninseibu/>

道路の異状を発見したら、道路緊急ダイヤルへお知らせください。

#9910 24時間受付



X(旧Twitter)



山陰道ポータルサイト

山陰道全体の計画図や
事業の詳細、進捗情報などを
お知らせしています。
<http://www.cgr.mlit.go.jp/sanindo/>



国土交通省 中国地方整備局 山陰西部国道事務所



一般国道191号

三隅・長門道路

